

平成 29 年（2017 年）度 2 月 理事会議事録

I. 日時：平成 30 年 2 月 8 日（木）19:02～21:11

II. 場所：神奈川県作業療法士会事務所

III. 理事会定数

出席理事：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・神保・玖島・遠藤  
野本・名古屋・作田・澤口・佐藤・大郷 計 15 名

欠席理事：奥原・村越

参加監事：田中

欠席監事：糊澤

その他：宮沢・横山（共に書記）

IV. 議長団選出

議長：錠内会長

副議長：金山事務局長

議事録署名人：錠内会長・名古屋理事・田中監事

V. 配布資料

1. 式次第

2. 資料 1：各部・委員会 事務局／財務部／学術部／教育部／広報部／福利部／地域  
リハビリテーション部／制度対策部／規約委員会／ウェブサイト管理委  
員会／学会評議委員会／公益法人化対策委員会／生活行為向上マネジメ  
ント推進委員会／認知症対策委員会／地域包括ケアシステム推進委員会

3. 資料 2：予算案

4. 資料 3：事業計画

5. 資料 4：研修会参加費収入票

VI. 回覧資料

1. 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨における JRAT 活動報告書（茨城県）

2. 熊本地震災害リハビリテーション支援活動報告書

3. 山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会 大会誌

VII. 審議内容

1. 重点課題

(1) 事務局：①事業計画②予算検討③チラシ封入について

(2) 財務：予算について

(3) 地域リハビリテーション部：ブロック化について

(4) 規約委員会：改正個人情報保護法及び関連法の制定への流れ

(5) 地域包括ケアシステム推進委員会：ブロック化について

2. 審議事項

(1) 事務局：①後援②委員の推薦③総会の日程調整

(2) 財務部：部員の承認

(3) 学術部：①学会でのブース出展について②学術部主催の研修会参加費の設定につ  
いて③研修会の SNS 投稿の取り扱いについて

(4) 規約委員会：改正個人情報保護法および関連法の制定への流れについて

3. その他各部・委員会の報告（47 委員会の報告あり）

VIII. 審議事項

1. 事務局

(1) 重点課題

- 1) チラシの封入について  
2月号のニュースでチラシの封入もれあり。対策を高陽印刷所と協議し、事務局で一覧を作成することとなる。チラシを直送する場合は必ず事務局へデータとともに何種類直送したか、サイズを連絡する。
- (2) 審議事項
  - 1) 神奈川県回復期リハビリテーションソーシャルワーク研究会後援について⇒承認
  - 2) 平塚市障がい認定審査委員の推薦  
近藤智氏（厚木市市民病院）⇒承認
  - 3) 2018年度総会日程の調整  
2018年5月27日（日）の午前で決定。会場等決まり次第連絡する。

## 2. 財務部

- (1) 重点課題
  - 1) 会計ファイルについて  
ダブルチェック、理事 ML で流すことの徹底のお願い。会計係りから個人メールに連絡がくることあり。
- (2) 審議事項
  - 1) 部員の承認  
黒木裕介氏（湘南鎌倉総合病院）監査に向けた人員の増員のため。⇒承認

## 3. 学術部

- (1) 審議事項
  - 1) 臨床大会でのブース出展について  
第3回神奈川県臨床作業療法大会で研究助成班による「研究デザインの相談所」を企画したい。その場で解決できなかった場合は、引き続きメールなどでアドバイスができるなど対応を検討。
    - ・臨床大会の学術ブースは難しいが事務局との県士会ブースでの対応は可能か（大会担当）。
    - ・学会評議委員との事前検討では今回はスペースの問題があるため難しいが次回以降の学会で机は検討できそう。（事務局）
    - ・学会と臨床大会と分けて検討。（監事）
  - 2) 学会などで優秀演題の選出について  
優秀な一般演題に対し、学術部から演題賞の選出や当雑誌の投稿などの呼びかけることで学術誌への投稿数を増やしたい。
    - ・臨床大会は演題が少ないため表彰は検討していない。（大会担当）
    - ・規約から考えると学会運営が検討すべきではないか。（規約）
    - ・基準が適切に検討できればよいのでは。（会長）
    - ・他の学会では35歳以下の会員が特賞を取った場合投稿することになっている。他団体も参考にしては。（公益法人化対策）⇒継続審議。学会評議委員会と基準（第3回臨床大会では個人的に声をかけていくこととなるがその具体的な基準）を検討。
  - 3) 研修会の参加費について  
他県士会員や他職種からの参加も受けているが参加費の設定については明記されていないため、差をつける方向で検討している。
    - ・研修全体の提案でよいか。（地域包括ケアシステム推進）

- ・ 枠を作ることはいい。ただ値段設定について時間でいくらという規定もある。会員以外に申し込みは何人くらいいるのか。(財務) →5 名前後。
- ・ 教育部の研修はどうなっているのか。(公益法人化対策) →1 コマ 1,000 円。協会  
で検討されているため変更は難しいか。
- ・ 認知症対策委員会の研修会は協会から指定 4 項目 3.5 時間。全体という基準とい  
うことになるか。すみ分けが必要か。(認知症対策)
- ・ 福祉用具は PT 士会との関係もある。(制度対策)
- ・ 神奈川県士会は良心的だという意見もあるが、会員と非会員で差をつけることは  
いいと思う。(財務)

⇒サイボウズで意見をすり合わせていく。

#### 4) 研修会の SNS 投稿について

- 研修会講師から研修の様子を個人の SNS にアップしたいと希望があった。講習会  
参加者の同意が得られればよいと判断しているが理事の意見を聞きたい。
- ・ 去年の 5 月に個人情報保護法の改定があり、県士会に問い合わせがあったときの  
ため慎重にしてほしい。(規約)
  - ・ 個人がアップした際、アップしたことで研修会側の県士会に責務が生じることが  
あるか。(地域包括ケアシステム推進)
  - ・ そこまではないと思うが後から取り消してほしいと言われたときに削除してもら  
えるのか。(規約)
  - ・ 県士会のお墨付きとなると許可は難しいか。(会長)
  - ・ 県士会 HP の写真と同一のものならまだ対応できるか。(規約)
  - ・ ご自身の写真をあげる分には問題ないか。(監事)

⇒県士会の判断として今回難しいことを伝える。

#### 5) 部員(学術誌編集部員)の承認

渡邊誠氏(北里大学) ⇒承認

### 4. 地域リハビリテーション部

#### (1) 重点課題

##### 1) ブロック化について

地域包括ケアシステムの活動の中で作業療法士が少ない、だれに声をかけていい  
かわからないと行政から声が聞かれている。藤沢市は作業療法士が窓口だが他市  
町村は理学療法士が行っている。作業療法士が地域で力を発揮できるかと思うの  
でブロック化することで地域包括ケアシステムに対応していくためにも早めに  
対応してもらいたい。

##### 2) 地域包括ケアシステム三団体合同研修会について

去年は 100 名中 OT の参加者は 10 名程度だった。参加者のしびりが無いのでぜひ  
参加してほしい。

### 5. 規約委員会

#### (1) 重点課題

##### 1) 個人情報保護法および関連法の制定の流れ

規約に関しては基本的に総会で承認がいらぬことが多い。会員に関係のないも  
の(公印・文書・個人情報保護)に関して理事会承認とすることで、法律の流れ  
にあわせて適宜対応できるようにしたい。総会承認は 1/2 でよい。

⇒承認。総会審議事項にいれていく。

## 6. ウェブサイト管理委員会

- (1) 審議事項
  - 1) 県士会コンテンツ・部録の投稿者管理について  
手順に沿って対策してもらおう。
  - 2) 各部・各委員会ページの更新について  
基本的に年に 1 度行っているが順次アップ可能であるため、年度途中の承認も連絡していく。

## 7. 地域包括ケアシステム推進委員会

- (1) 複数部門からブロック化の事業計画が提出されたが話し合いなく事務局一任になった件について  
経緯がわからず事業計画の削除となった。先日ヒアリングがあったので状況がわかったが説明が早めにほしかった。今後この件はどうなるのか。
  - ・ワーキングチームを立ち上げ 3 月に一度検討したい。(副会長)

⇒事務局発信で日程を調整する。

## 8. 事業予算・計画について（事務局・財務重点課題）

- (1) 財務より会費収入についてと財務シュミレーションについて説明  
資料をもとに今まで不明確だった当士会の全資産を説明。また積立金について新たな案（周年行事、学会・臨床大会、学会会場、学生ボランティア、非常時、事務局）を設定したことを報告。財政シュミレーションでは収入面での会費の見直し、研修会参加費の見直し、助成金事業の取り込み、賛助会員の増加など収入を増やす工夫が必要であること、支出においても積立金使用状況の精査、各部・委員会の精査、定期預金・資本金の見直しなどの振り返りが必要との課題を提示した。
- (2) 会長補足  
年末からメール上での審議で混乱も生じたため整理した。
- (3) 意見
  - 1) 事務局の積み立てが一括事務局積み立てになったことについて
    - ・契約上の雇用にも退職金の記載がない現状と規約もないため名目を返上し事務局積み立てとして検討した。(事務局)
    - ・一本化の説明を事務局の方にしてあげてほしい。→専門家に相談予定(事務局)。
  - 2) 会費の一括徴収について
    - ・会費についてはまだ協会も未定とのこと。(副会長)
  - 3) 会員の予測について
    - ・国家試験合格率は横ばいになっている。県士会のみ 200 名ずつ上がっていくとは予測できないのではないか。下方修正もあるのでは。(規約)
    - ・退職者が増えていくのは 10 年後だろうが会員になってもらえるよう検討していつては。(監事)
    - ・会員の増加について具体的な方法も検討か。補助金などの利用など収入アップの検討をしていただきたい。(公益法人化対策)
    - ・賛助会員を増やすなども検討か。(財務)
    - ・第 3 回の臨床大会について後援・共催を事務局と共有していく。(大会担当)
  - 4) 財務シュミレーションについて

- ・シュミレーションの前提条件が過去の実績とあっているのか→再度資料を提出する。
- 5) 周年行事について
  - ・周年企画について突然でできたのはなぜか。(ウェブサイト管理)
  - ・行事積み立てという名称を使っていた。40 周年については提案である(会長)
  - ・合意がないので進めていく必要があるのか。任意団体から 40 周年だが一般社団法人になってから 10 周年(2020 年)でもいいのでは。(監事)
  - ・やりたいという気持ちはあるがなんのために行うのか。(地域包括ケアシステム推進)
  - ・内向きの会員に向けてではなく、外向きに行ったらいいのではないか。(規約)
  - ・会員にむけて県士会に注目してもらってもいいのでは。(制度対策)
  - ・放射線技師会 70 周年では新入会員挨拶や賛助会員へ感謝状付与などあった。(事務局)
  - ・世界 OT デイに何もやっていないので神奈川県周年行事として世界 OT デイのイベントに参加していく方法もある。県士会独自のものと対外向けの企画も検討していけば。(広報)
  - ・総会後に集まる場所もある。(公益法人化対策)
  - ・公益にあわせて対外的な方向性もあるのでは。(地域包括ケアシステム推進)
  - ・県士会の方向性をまず提案してほしい。(広報)
- 6) 各部・委員会の使用金額について
  - ・会費収入よりも多く例年使用していたのでは。(認知症対策)
  - ・予算は収入よりも多かったが返却があったので繰越金を使わなくても成り立っていた。(副会長)
  - ・公益事業という分け方も検討しては。(公益法人化対策)
  - ・会員が増えればお金がかかるというのは理解しにくい。目標を共有できる新たな事業があるのなら分かるが。(広報)
  - ・2010 年ごろに予算を上げた過去のことも踏まえて提案してほしい。(ウェブサイト管理)
  - ・財務だけでは対応できないことなので財務システムの検討をしてはどうか。(地域包括ケアシステム推進)
  - ・クラウドの導入を検討していたが公益法人化によって異なるので税理士の検討をしている。当会の会計システムも特異的であるため会計士に相談したい。(財務)
  - ・周年企画については三役より具体的な案を提示してもらおう。

## 9. その他

### (1) 公益法人化について(会長)

サイボウズでの意見をまとめたものを会長がまとめて報告。公益法人について反対意見はなかったと認識している。だが、越えなければならない課題はある。当会の中長期計画は 2018 年度まで。2019 年度からの計画は総会までにロードマップを提案していく予定。OT 協会の時期計画を参考としてみる。

### (2) 47 委員会報告(会長・野々垣副会長)

#### 1) 臨床実習について

臨床実習指導者は 5 年以上、研修会終了者のみ。また、各県士会で研修を開いてほしい様子だったとのこと。

- ・国の指定であり医者にあわせて 2 日間くらいか。2019 年入学生から対象。

#### 2) テレビリモコン普及に向けた協力について

普及を目指して全国に無料配布される。

⇒事務局が窓口となり取りまとめる。メールに対して希望者は返信する。

(3) チラシについて (大郷理事・事務局)

高陽印刷に依頼するとモノクロ 13,800 円、カラー34,000 円かかるが外部に依頼すると 5,000 円ですむこと、1 枚 2 円の封入代を考慮しても安くすむことが大郷理事より情報提供あり。事務局から 1 枚が厚いチラシが重なると郵送代が変更することを報告。

⇒チラシ代も含めて広報負担なので封入代は部・委員会が負担するなど今後検討する。

(4) 監事より

- ・年間計画を年度初めに提出してほしい。そうすることで混乱は避けられたのではないか。
- ・ブロック化についても一昨年から提案していたのに今年度の 3 月に話し合いでは遅いのでは。話し合うだけでなく、次年度につながるようなロードマップの提案も依頼したい。
- ・提案が思いつきの印象があるのでやり方をしっかり提案してほしい。

IX. 報告事項 \*資料確認

1. 事務局

(1) OT 協会関連

- 1) 会員処分について報告 (訪問先からの窃盗→除名、飲酒運転、盗撮→退会)
- 2) 平成 29 年度第 3 回 47 都道府県委員会 2018 年 1 月 27 日 (土)、28 日 (日)  
錠内会長、野々垣副会長参加

(2) 神奈川県

- 1) 神奈川県リハビリテーション協議会 委員 木村副会長

(3) その他の関係団体

- 1) 神奈川県介護支援専門員協会

①設立祝賀会 2018 年 1 月 17 日 (水) 参加者：野々垣副会長

②介護支援専門員協会協賛\* 対外広報班で対応

- 2) 県放射線技師会 70 周年記念式典・祝賀会 2018 年 2 月 4 日 (日) 参加者：金山

3) 病院協会

①賀詞交換会 2018 年 1 月 17 日 (水) 参加者：錠内会長

②第 36 回神奈川県病院学会お礼 2017 年 11 月 13 日開催 228 名参加

- 4) 神奈川県医師会 総決起大会 2017 年 12 月 5 日開催  
参加者：錠内会長・榎澤監事・作田理事・名古屋理事・金山

- 5) 県栄養士会 賀詞交換会 2018 年 1 月 26 日 参加者：野々垣副会長

- 6) 神奈川県看護協会 新春のつどい 2018 年 1 月 25 日 参加者：金山

- 7) 日本ハンドセラピィ学会学術集会後援お礼

- 8) 横浜市大リハ科学教室 記念誌原稿依頼 錠内会長対応

- 9) 南区在宅療養支援ネットワーク会総会 前回参加者に連絡

(4) その他

- 1) 国立研究開発法人化学技術振興機構情報企画部  
著者抄録の一般公開について、平成 30 年度下期より J-GLOBAL でも提供することになったと連絡あり。

(5) 選挙管理委員会

2017 年 12 月 7 日 (木) 代議員選挙の開票作業実施。A ブロック 13 名、B ブロック 12 名が立候補。推薦作業に入る。

## 2. 財務部

### (1) 来年度予算案の検討

2017 年 12 月 12 日 (火)、2018 年 1 月 10 日 (水) に三役と共に検討。来年度の予算編成、考え方、今後の展望などを検討。

## 3. 学術部

### (1) スキルアップ研修事業報告

#### 1) 脳血管障害に対する上肢機能の新しい評価

2017 年 12 月 17 日 (日) 13:45～16:45 会場：ユニコムプラザさがみはら

講師：高橋香代子氏 (作業療法士 北里大学医療衛生学部作業療法学専攻教授)

参加数：93 名

#### 2) 精神科作業療法における評価法や面接技術について学ぼう

2017 年 12 月 17 日 (日) 13:30～16:30

講師：香山明美氏 (作業療法士 みやぎ心のケアセンター、日本作業療法士協会副会長)

参加数：41 名

### (2) スキルアップ研修事業今年度予定分

#### 1) OT に必要なマネジメント～「自分づくり、仲間づくり、組織づくり」～

2018 年 2 月 18 日 (日) 9:30～13:00 会場：イムス横浜国際看護専門学校

講師：澤田辰徳氏 (作業療法士 東京工科大学医療保健学部作業療学科准教授)

受講料：2,000 円 参加数：予定 60 名

#### 2) 脳血管疾患に対する運動機能改善のアプローチ～1 単位で効果の示せる片麻痺への介入方法～

2018 年 3 月 11 日 (日) 10:30～16:30 会場：横浜 YMCA 学院専門学校

講師：田邊浩文氏 (作業療法士 湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科 教授)

受講料：3,000 円 参加数：予定 40 名

#### 3) ダイアログ (対話) に触れてみよう

2018 年 2 月 18 日 (日) 13:30～16:30 会場：藤沢市民会館

講師：相澤和美氏 (国際医療福祉大学大学院 精神看護学領域 教授)

孫大輔氏 (東京大学大学院医療系研究科 講師)

受講料：2,000 円 参加数：予定 30 名

### (3) 神奈川作業療法研究編集長の引き継ぎについて

2017 年 12 月 13 日 (水) に編集長引き継ぎの会議を行った。今年度の編集から幅田氏も参加し引き継ぎ作業が行われている。2018 年 4 月から新編集長として引き継ぐ予定。メディカルオンラインでの当雑誌の会員閲覧方法の検討を行っている。

### (4) 神奈川助成金制度について

予定通り湘南慶育病院の丸山氏に支給された。来年度から助成金制度の要件が一部変更となるため、規約の修正作業を行い、今後会員に向けて周知していく。

## 4. 教育部

### (1) 現職者共通研修報告

#### 1) 第 2 回 2017 年 11 月 5 日 (日) 会場：ウィリング横浜

- ①「作業療法における協業・後輩育成」講師：岩上さやか氏（国際医療福祉大学）  
参加者：71名
  - ②「職業倫理」講師：榎澤直美氏（湘南医療大学）参加者：87名
  - ③「保健・医療・福祉と地域支援」講師：田中ゆかり氏（藤沢市保健医療センター）参加者：81名
  - ④「日本と世界の作業療法の動向」講師：神保武則氏（北里大学病院）  
参加者：71名
- 2) 第3回 2017年12月3日（日） 会場：横浜リハビリテーション専門学校
- ①「事例報告と事例研究」講師：水野健氏（昭和大学附属烏山病院）参加者：85名
  - 3) 事例報告登録制度に関する研修会  
2017年12月3日（日）会場：横浜リハビリテーション専門学校  
講師：奥原孝幸氏（神奈川県立保健福祉大学）参加者：86名

## 5. 広報部

- (1) ニュースについて  
予算内で通常通り発行中。会員は増えたが費用は見積もり通り。
- (2) 外部団体からのチラシ封入  
「第47回臨床神経生理学会」で初めて封入代を請求した（約¥9,000）。振込確認。事務局名義で領収書も発行済み。
- (3) 対外広報 活動報告
  - 1) 横浜市「神奈川新聞主催 介護フェア」ブース出展  
2017年11月5日（日）今年で2回目の参加。  
内容：一般県民対象の企画・パンフレット配布・福祉用具ポスターの展示・介護相談（介護経験者と介護生活に関する談話・相談やリハビリテーションの説明など）
  - 2) 川崎市「川崎市介護いきいきフェア」ブース出展  
2017年11月16日（木）今年度より初企画の参加。一般県民対象の企画。  
福祉用具班と共同実施（福祉用具班2名、対外広報班1名）  
内容：パンフレット配布・アンケート実施・介護相談（身体障がい者の調理・食事動作時の自助具相談や介護保険領域のリハビリテーションに関する相談など）対応
  - 3) 「日本介護支援専門員協会南関東ブロック研修会」ブース出展  
2018年1月20日（土）定例企画。関連職種対象の企画。  
内容：パンフレット配布・アンケート実施・相談対応  
ケアマネージャーより情報共有に関する要望・応援を多々頂いた。  
・利用者の依頼には至らないが、リハビリについてどこに相談すればよいか悩む。  
・ブロックごとに作業療法士がどこにいるのか知りたい。  
・生活に着目してくれる専門職は作業療法士しかいない。がんばってほしい。

## 6. 福利部

- (1) 求人・求職の登録および情報提供(2017年10月23日～2018年1月17日)
  - 1) 新規掲載依頼：のべ86件(うち有料5件)
  - 2) 変更依頼：のべ7件
  - 3) 削除依頼：のべ5件
  - 4) 問い合わせ対応：のべ0件



- (2) 職場見学会・体験会「磯子中央病院」  
2018 年 3 月を予定。内容：身障領域における HAL や上肢ロボットを用いた訓練について(仮)。詳細が決定次第、ホームページにアップしていく。
- (3) JAOT 特別表彰受賞者 推薦書提出済み。現在、結果待ち。
- (4) 神奈川県作業療法士会  
表彰候補者選定中。表彰者が決定次第、通知する。記念品についても検討中。

## 7. 地域リハビリテーション部

- (1) 研修会企画
  - 1) 難病リハビリテーション講習会 2017  
2018 年 3 月 11 日 (日) 会場：ウィリング横浜

## 8. 制度対策部

- (1) 福祉用具関連事業班
  - 1) 福祉用具に関する会員向け研修会  
第 4 回 2017 年 11 月 5 日 参加者 8 名  
第 5 回 2017 年 12 月 3 日 参加者 5 名 年 48/50 名
- (2) 他団体からの要請協力  
かわさき介護いきいきフェア (広報部と協力しブース出展) 2 名派遣。
- (2) 災害対策事業班
  - 1) 会員被災状況確認システムのデモ運用の実施延長について  
2 月の OT 協会の「災害発生を想定した訓練の実施」に合わせて、デモ運用を行う。2018 年 2 月 10 日まで実施。
  - 2) かなりハケアフォーラム ブース出展予定 (対外広報班と共同で)  
2018 年 2 月 3 日開催。
- (3) 社会制度対策班  
WEB にて情報発信。10~1 月で 11 回発信した。  
協会主催の診療報酬改正研修会に出席予定、その後 WEB にて情報発信予定。

## 9. 規約委員会

- (1) 個人情報保護法改正関連に伴う対応  
2015 年 9 月 9 日に個人情報保護法の改正法が公布され、2017 年 5 月 30 日に全面施行となっている。  
今までの個人情報保護法の一部改正といったものではなく、全面的に変更となった。「OT 協会」などにも問合せしたが、現在作成中で、外部に出せないとの返答であった。他の「医師会」や「看護協会」など他団体も確認しているが、旧個人情報保護法となっている。また、今回個人情報保護法の関連法として、いわゆるマイナンバー法も改正され、登録人数に関わらず基本的に全ての団体は対象となった。  
⇒次回の総会時には議案として提出できない状況と思われる。しかし社会的な責任を鑑みると改正については早急に対応する必要があるが、OT 協会などの規約変更を参考に動きたい。

## 10. 認知症対策委員会

- (1) 認知症 UD 研修会

- 2017 年 12 月 2 日（土） 会場：国際医療福祉大学 参加者：32 名  
(2) 若年性認知症の人と家族のつどい  
2018 年 1 月 14 日（日）に委員 4 名で参加。

#### 1 1. 地域包括ケアシステム推進委員会

- (1) 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業の派遣実績  
1) 地域グループ：24 件  
2) 地域ケア会議：6 件  
3) ケアマネジメント支援：5 件  
4) 人材育成等：4 件  
(2) 講師実績  
1) 横浜市主催の地域リハビリテーション活動支援事業研修  
2017 年 11 月 14 日（火）13:30～17:00  
対象：保健師、地域包括職員など約 80 名  
2) 神奈川県年金受給者協会の社会貢献事業  
2018 年 1 月 16 日（火）13:00～16:30 対象：年金受給者協会員など約 100 名  
3) 委員会主催の研修会について  
テーマ：「作業療法士による地域づくりシンポジウム」  
2018 年 3 月 10 日（土）14:00～17:00  
4) 委員会内でのブロック化について  
横浜市の派遣事業に地域レベルで対応できるよう、3 ブロック（各 6 区）で部員構成を検討していく。

#### 1 2. 渉外活動

- (1) 神奈川県医療推進会議「国民医療を守るための神奈川県総決起集会」  
(2) 一般社団法人神奈川県臨床検査技師会平成 30 年賀詞交換会  
(3) 公益社団法人神奈川県病院協会平成 30 年度新年賀詞交換会  
(4) 神奈川県医療専門職連合会通常理事会  
(5) 公益社団法人神奈川県看護協会平成 30 年新春のつどい  
(6) 平成 29 年度第 3 回 47 都道府県委員会  
(7) 公益社団法人神奈川県放射線技師会創立 70 周年記念式典・祝賀会  
(8) 介護予防事業（鎌倉市）

X. 次回理事会日時・場所 三役会 2018 年 2 月 20 日（火）19:00～  
理事会 2018 年 3 月 8 日（木）19:00～  
一般社団法人神奈川県作業療法士会事務局

以上（文責：横山・金山）

議事録署名人議長： 錠内広之 印  
理事： 名古屋和茂 印  
監事： 田中ゆかり 印